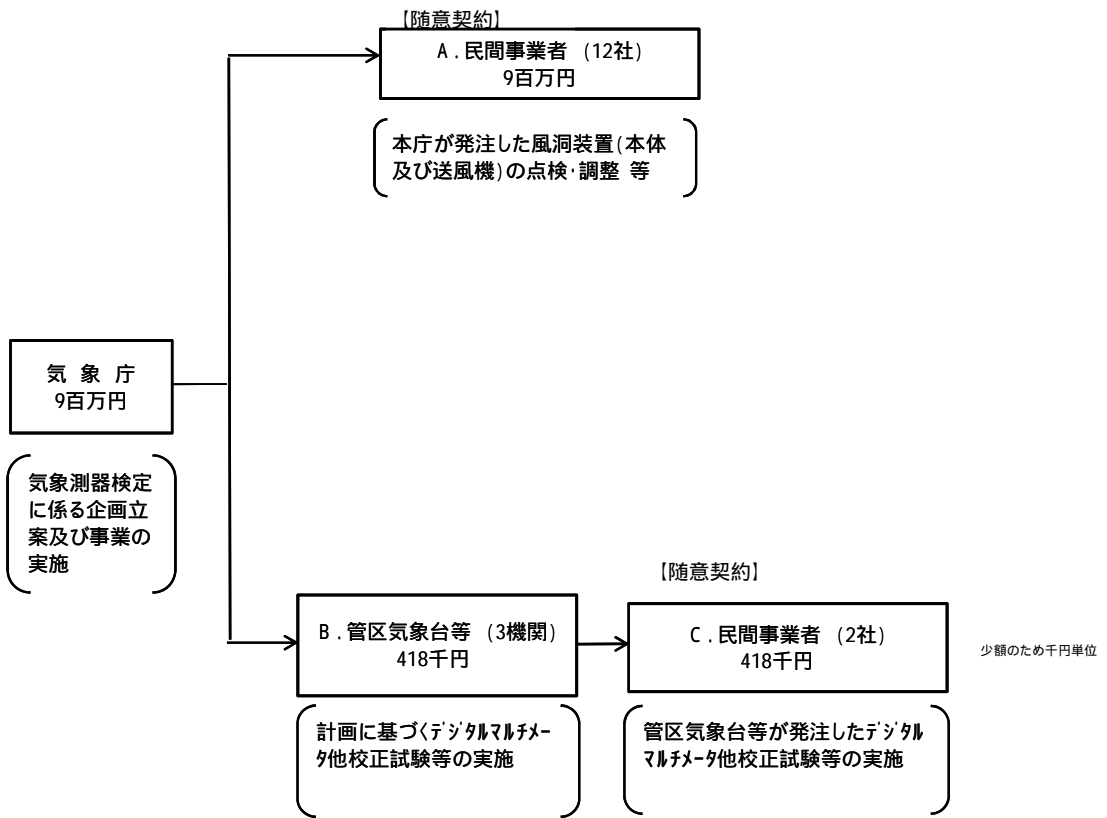


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気象測器検定		担当部局	気象庁観測部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	計画課		課長	赤枝 健治	
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第6条、第9条、第32条他)		関係する計画、通知等	防災基本計画(昭和38年策定) 世界気象監視計画(WMO策定、昭和38年開始)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政府機関や地方公共団体等が行う気象観測に使用する気象測器の検定・検査を行い、観測データの精度維持を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	気象庁がアメダス観測で自ら観測を行う全国の気象測器について、定期的に測器検定装置により検査を実施し、観測誤差が許容の範囲内にあることを確認する。 また、気象業務法に基づき気象観測を行う部外機関が使用する気象測器は、気象観測に適した測定器である必要があり、気象庁は、申請された気象測器の構造が基準に適合するかどうかを検査し、型式証明を行う。 また、部外機関が行うべき気象測器の検定業務について、受託により実施する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	23	11	9	16	11	
		補正予算	0	214	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	23	226	9	16	11		
	執行額	23	203	9				
執行率(%)	100%	90%	99%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	台風中心位置の予報誤差を平成27年までに260kmとする。		成果実績	km	298	289	302	260(平成27年)
			達成度	%	87%	90%	86%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	気象庁測器検査数		活動実績 (当初見込み)	台	15,125	15,256	16,433 (16,173)	(15,605)
	型式証明書発行数		活動実績 (当初見込み)	件数	16	11	15 (12)	(12)
	検定料収入		活動実績 (当初見込み)	千円	1,538	1,013	2,227 (1,400)	(1,463)
単位当たりコスト	0.5 (千円/気象庁測器検査数)		算出根拠	H22執行額/H22活動実績				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.01	0.01	・前年度限りの経費 5百万円				
	観測予報庁費	16	11					
	計	16	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・不正確な観測データが社会に流出した場合には防災対応への支障や混乱を招く恐れがあるため、公共性の高い観測に使用する気象測器を一定の規格に適合させ、十分な精度を維持することは気象災害を未然に防止する観点から必要不可欠である。 ・今後とも着実かつ適切に業務を遂行するとともに、検定に使用する測定器の点検等の調達における一層の競争性の確保など、効率的、効果的な予算執行に努める。 	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		気象測器検定業務の効率的・効果的な見直しを図るべき。 引き続き、競争性の確保等調達方法の改善を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
当然減による減額。 チーム所見を踏まえ、気象測器検定業務の効率的・効果的な見直しに努めるとともに、引き続き競争性の確保等調達方法の改善に努める。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
総務省 気象行政評価・監視結果に基づく勧告 国土交通省は、気象測器の検定について、気象測器の受検状況、検定の合格率等の実態を踏まえ、気象測器の使用者の負担軽減を図る観点から、その在り方に関する検討を行い、見直しを行う必要がある。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)IHI回転機器			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	風洞装置(本体及び送風機)の点検・調整他	2			
計		2	計		0
B.札幌管区気象台			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	デジタルマルチメーターの校正	0.210			
計			計		0
C.日本電気計器検定所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	デジタルマルチメーター他校正試験等	0.381			
計		0.381	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)IHI回転機械	風洞装置(本体及び送風機)の点検・調整他	2	随意契約	
2	三菱重工メカトロシステムズ(株)	風洞装置(検定台及び直流電動機スパークレベル)の点検・調整	2	随意契約	
3	英弘精機(株)	日射日照計の修理及び調整等	1	随意契約	
4	独立行政法人 産業技術総合研究所	白金抵抗温度計の校正等	1	随意契約	
5	三興通商(株)	電気式湿度計の修理及び調整等	0.675	随意契約	
6	(株)ブリード	日射日照計の修理及び調整	0.565	随意契約	
7	(財)日本品質保証機構	測定器の校正	0.358	随意契約	
8	日本電気計器検定所	デジタルマルチメータ他校正試験等	0.287	随意契約	
9	江藤電気(株)	記録器の修理	0.090	随意契約	
10	キャノンシステムアンドサ ポート(株)	プリンター修理	0.074	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	札幌管区气象台	デジタルマルチメータの校正	0.210		
2	仙台管区气象台	測定器の校正	0.171		
3	大阪管区气象台	デジタルマルチメータの校正	0.037		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気計器検定所	デジタルマルチメータ他校正試験等	0.381	随意契約	
2	(財)日本品質保証機構	デジタルマルチメータ定期点検	0.037	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					